

## 令和2年度 物理工学科1回生ガイダンス資料

- 1 諸注意
- 2 学生のみなさんへ
- 3 物理系校舎配置図
- 4 令和2年度学科長・クラス担任等一覧表
- 5 令和2年度入学者の2回生進学時のコース分属方針
- 6 令和2年度物理工学科1回生用情報基礎演習受講についての注意
- 7 専門科目の履修登録について（令和2年度前期）
- 8 配当専門科目一覧（令和2年度前・後期）
- 9 履修科目フローチャート(各コース)
- 10 特別研究履修基準(3コース)
- 11 情報セキュリティ対策のお願い
- 12 コンピュータソフトウェアの適正な使用について
- 13 工学部保健室

### 配布資料

- 1 工学部履修要覧
- 2 物理工学科図書室利用案内
- 3 「人権」を考えるために
- 4 京都大学におけるハラスメントの防止と対応について

## 諸注意（1回生用）

## 物理工学科

## （1）履修に関すること

## 1. 卒業要件等について

卒業要件・科目配当表等は入学年により異なるので、各自、入学年度の履修要覧にて確認すること。（P29～36）

## 2. 履修登録について

履修登録のない科目は試験を受けても単位は認定されない。全学共通科目、工学部専門科目ともに、KULASISでの履修登録期間、履修登録確認期間に十分注意し、履修する科目については、必ず正しく各自がKULASISより登録しておくこと。

## 3. 履修登録単位数の上限について

工学部では令和2年度入学者から、1学期に履修登録できる単位数の上限を30単位とする。

通年開講科目については、その単位数の1/2を1学期分の単位数として算入する。

なお、以下に該当する者は、履修単位の上限を超えて履修登録が認められることがあるので、物理工学科事務室に確認すること。

- ①履修登録を行う学期の前学期末における総取得単位数が、本学科が定める学期末毎の目標単位数<sup>注1)</sup>以上である者で、前学期のGPAが3.6以上のもの。ただし、特別研究履修基準を満たした者については、本条は適用しない。
- ②傷病、障害等のやむを得ない事情がある者。
- ③協定校への留学が決定している者または協定校へ留学した者。
- ④教育職員免許状の取得を目指す者
- ⑤その他、クラス担任またはコース長（以下「コース長等」という。）が特に必要であると認めた者。

注1)	1回生前期末	24単位	1回生後期末	48単位
	2回生前期末	70単位	2回生後期末	90単位
	3回生前期末	106単位	3回生後期末	122単位

## 4. 物理工学総論A・Bについて

コース配属後の2回生以上で履修し、単位を修得しても卒業に必要な単位とはならないので注意すること。

## 5. クラス分けについて

工学部専門科目のクラス分けのある科目については、「物理工学科配当科目一覧」の指示に従って受講すること。クラスの変更を希望する場合は、担当教員に申し出ること。

## 6. 日本語・英語(E2科目)の両方で開講される全学共通科目について

日本語・英語(E2科目)の両方で開講される全学共通科目を、どちらも修得した場合の単位認定の取り扱いについては、物理工学科では先に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同学期に修得した場合は、成績の良い方を卒業に必要な単位として認定する。

情報基礎(工学部)、情報基礎演習(工学部)については、日本語科目のみ、卒業要件単位として認める。(但し、iUP生は除く。)

## 7. 履修についての問い合わせ先

全学共通科目については、全学共通科目学生窓口(国際高等教育院棟1階)

工学部専門科目については、物理工学科事務室(物理系校舎1階)

## (II) 試験に関すること

### 1. 不正行為をしないこと

受験（全学共通科目および他学部科目を含む）に際して不正行為があった場合は、当該学期の全試験科目（全学共通科目および他学部科目を含む）の受験を無効とする。また、レポート試験にも準用する。（工学部試験内規 16 条第 1 項、第 2 項）

不正行為と疑わしき行為は本人の意図とは無関係に不正行為とみなすので、誤解を招きかねない行動は避けること。

### 2. 試験中は学生証を机上に提示すること。

### 3. 試験中はスマートフォン等の電源を切り、カバンに入れておくこと。

## (III) 一般的事項

### 1. 住所等の変更手続きについて

住所、電話番号、携帯電話番号、メールアドレス、保護者等住所、緊急連絡先、授業料の振込依頼書の送付先などに変更があった場合は、速やかに KULASIS より変更の手続きを行うこと。

### 2. 学生への通知及び連絡方法について

各種連絡事項は全て掲示（物理工学科事務室前掲示板）および KULASIS にて周知する。

掲示および KULASIS は必ず毎日確認すること。

原則として電話による問い合わせには対応を行わない。

KULASIS「お知らせ」－休講・補講・レポート・呼び出し・教務情報 等

・工学部・物理工学科からのお知らせ〔KULASIS－お知らせ－学部－工学部〕

・全学共通科目のお知らせ〔KULASIS－お知らせ－全学共通科目〕

KULASIS「共通掲示板」－授業料免除・奨学金・就職・留学・教職 等

### 3. 提出物について

各種提出物の締め切りは厳守すること。

提出物は原則としてレポート BOX（物理系校舎 1 階、北側ロビー）に提出すること。

提出の際は、BOX の題名、担当教員等を確認し、間違いのないよう提出すること。

不明な場合は、必ず窓口で確認してから入れること。

レポートには最初に科目名、担当教員名、学生番号、氏名を必ず記載すること

レポート BOX 受付時間：8：30～17：00（受付時間以外は施錠するため、提出できない。）

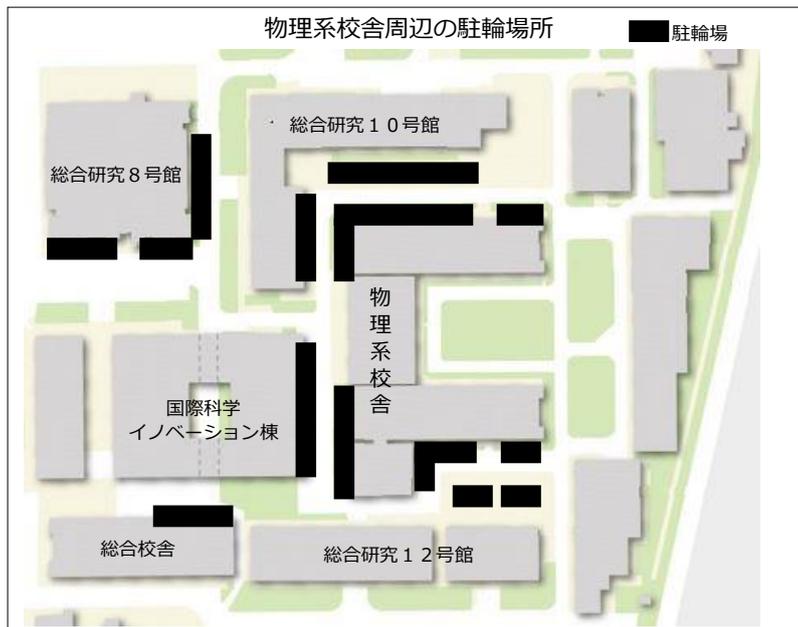
### 4. 海外渡航の際の手続きについて

海外渡航（留学生の帰国も含む）する場合は渡航前に物理工学科事務室にて、「海外渡航届」を提出すること。

安全確保のため海外旅行保険に加入しておくこと。

## 5. 駐輪場について

- \* 自転車・バイクは、歩行者安全・避難経路確保のため駐輪場へ置くこと
- \* オートバイで入構できる門 正門 裏門 北門
- \* オートバイ走行禁止境界線 境界線の内側、すべての走行を禁止
- \* オートバイ専用駐輪場 正門・裏門・北門付近に設置



### 【物理工学科の各種手続き・問い合わせ先】

物理工学科事務室（物理系校舎1階・受付時間 8:30~12:15 13:00~17:00  
レポートBOX 受付時間 8:30~17:00）

## 学生のみなさんへ

令和 2年 4月  
工学部・工学研究科

皆さんが健康で安全な生活を送ることは、学習や研究をする上で大切なことです。しかしながら、近頃、京都大学では学生が関係した事件・事故等が多く見受けられます。とりわけ危険ドラッグ等の禁止薬物の乱用は本人だけでなく、社会全体に計り知れない害悪をもたらすことを十分認識し、薬物乱用の甘い誘いに気を付けるとともに、誘われても絶対に断る勇気を持つこと、また、日常の様々な行動の中で、人権の尊重や法令遵守の重要性を自覚し、良識ある行動をとるようにすることが重要です。

また、工学部・工学研究科においても、以下のような事案(①～⑧)が発生しています。特に飲酒が関係した事故、学生をねらった詐欺事件、自転車・バイクによる交通事故などです。

このようなことが起こると勉学に支障が出たり、最悪中断せざるを得ない事態になります。当然のことですが、加害者となった場合、社会のルールに従って責任を負わねばなりません。自らの行動に責任を持つという自覚が必要です。

万一、事故や被害にあったときは、必ずご家族の方に連絡をするとともに、工学部・工学研究科に相談してください。工学部・工学研究科では、アドバイスやサポートを行っていますので、一人で悩まず、「学生相談室」、「指導教員」あるいは「事務室」に相談を持ちかけてください。

### 【飲酒が関係したもの】

- ①飲酒により酩酊状態になり警察に保護された。また、急性アルコール中毒で救急搬送された。
- ②インターネット上のブログで飲酒運転を告白、外部から通報があった。
- ③11月祭の打ち上げ後のトラブルで傷害事件を起こした。

新入生歓迎の行事やコンパなどの飲酒の機会が多いですが、「イッキ飲み」等危険な飲酒は絶対にしない、コンパなどでは無理に他人にすすめたり、先輩のすすめだからといって安易に飲まないようにしてください。また、京都大学では飲酒に関するわいせつ事件も報告されています。『飲酒は20歳を過ぎてから。』

### 【学生をねらった詐欺事件】

- ④学生ローンを利用した詐欺事件……会社を設立するための出資を持ちかけられ、返済は会社がするから心配しなくてもよいとして紹介された学生ローン会社で多額の金を借り、その報酬として謝礼を受け取った。その後、相手は持ち逃げし、学生本人にローンの返済請求が来るようになった。

- ⑤振り込め詐欺……交通事故を装って、学生の実家から多額の金を振り込ませた。

学生をねらった詐欺は、巧妙な手口で勧誘し、学生の経験の少なさなどにつけ込み、「楽しんで儲かる」といった気持ちを起こさせます。『うまい話に要注意!』

また、「振り込め詐欺」は、ご両親や身内の方が子供・お孫さんを心配する心の隙に入り込み、多額の金を振り込ませるやり方です。不審な電話があれば、ご家族の方と必ず連絡を取り合い確認するようにしてください。

### 【交通事故】

- ⑥自転車・バイクの事故……学生が運転する自転車、バイク事故が多発しています。無謀な走行が見受けられ、他の部局では無保険のバイクで加害者になり補償が重荷になるケースも出ています。自賠責や任意保険に加入し交通法令と走行マナーを遵守してください。特に自転車の交通マナーについては毎年地域住民の方から苦情が多数寄せられています。京都大学は公道を挟んでキャンパスが存在しており、一部は小学生の通学路となっていますので、公道を通る際はマナーに気を付けて走行してください。(スマホ、イヤホンを使用時の自転車の運転は5万円以下の罰金が科せられます。)

(■平成27年より大学正門前の東一条通の歩道上は自転車通行が禁止されました。自転車は車道の左側を走行してください。)

#### 【SNSを利用したトラブル】

⑦ツイッター上で安易に個人を中傷するような書き込みを行う行為は、関係者の間でトラブルになっています。利用マナーを考えてください。

#### 【サークル活動中の事故】

⑧サークル活動中に重傷事故も発生しています。また、近年では夏場に熱中症で倒れ、救急車で搬送されるケースが増えています。運動をする際には体調管理にも十分注意してください。

#### ◇学生教育研究災害傷害保険（学研災）・学研災付帯賠償責任保険（学研賠）への加入のすすめ

学研災・学研賠は、学生の教育・研究活動中、課外活動中、通学中の事故により被った傷害に適用されます。保険料も低額に設定されていますので、大学では原則として入学時に学研災・学研賠に**全員が加入**することとなっています。**未加入の場合、実験等履修できない科目があります。**（入学予定者サイト等からまだ加入されていない場合も、KULASISからの加入が可能です。）

#### ◇「学生相談室」のご案内

工学部・工学研究科では、学生の皆さんの様々な相談を受けるために「学生相談室」を設置しています。

京都大学工学部・大学院工学研究科ホームページ [トップ](#)>在学生・卒業生>各種手続 □学生相談室

(<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/f-procedures/consultation/index.html>)

授業や研究に関すること、人間関係や生活に関することなど、何でも結構ですので、気軽に相談してください。相談の際には相談者のプライバシーを保護し、守秘すべき事項については秘密保持に万全を期します。特に、学科・専攻の先生方に直接かかわる件の場合には、必ず他の学科・専攻の先生に対応していただき、相談に来たことによって万が一にも不利益をうけることがないように配慮していますので安心してください。

詳細は工学部・工学研究科ホームページに掲載しています。

#### ◇「保健室」のご案内

「漠然とした不安がある」「なんとなくやる気が出ない」「よくわからないけど、調子が悪い」といった、ちょっとした悩みや、不安・不調を感じた時に、気軽に相談ができる保健室を開室しています。保健室には養護教諭資格を持った専門スタッフが常駐しており、相談に応じる他、必要に応じて、学内外の専門窓口との橋渡しをいたします。

#### ◇全学的な相談機関（吉田・桂・宇治の各キャンパスに設置しています）

##### (1) 学生総合支援センター カウンセリングルーム

修学上あるいは学生生活上の悩み、さまざまな人間関係の悩みなど、どのような悩みや苦しみについての相談にも、学生相談、心理相談の専門スタッフが応じています。秘密は絶対に守られますので、安心して利用してください。

##### (2) 健康科学センター

各科の専門医が、傷病診療と心身の健康相談を行っています。

##### (3) 学生総合支援センター キャリアサポートルーム

就職に関する資料や情報を提供しているほか、就職ガイダンス、企業ガイダンス、国家公務員各府省業務説明会等を開催して、就職活動を支援しています。

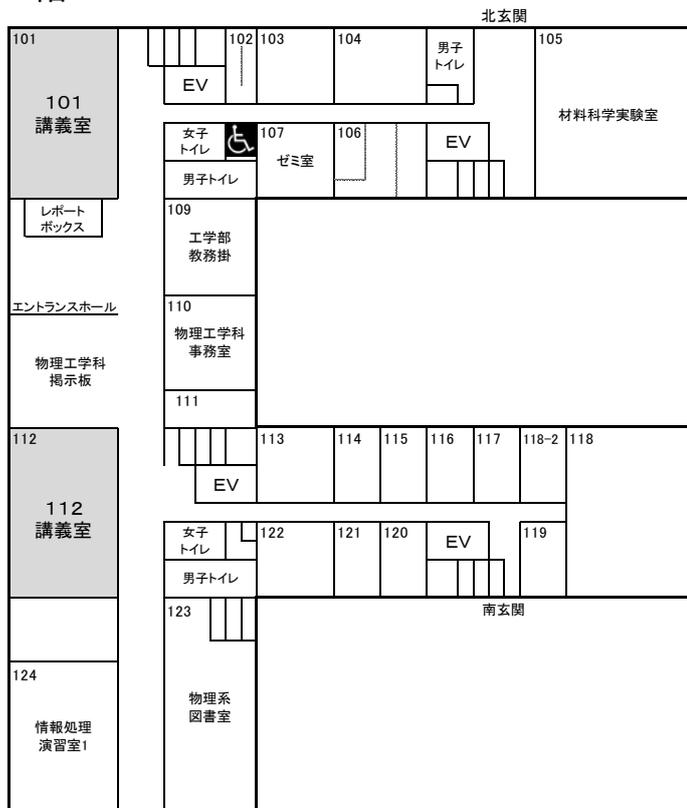
また、就職相談室を設けて就職活動における悩みや不安などについてのアドバイスも行っていますので、気軽に来室して利用してください。

#### ◇その他

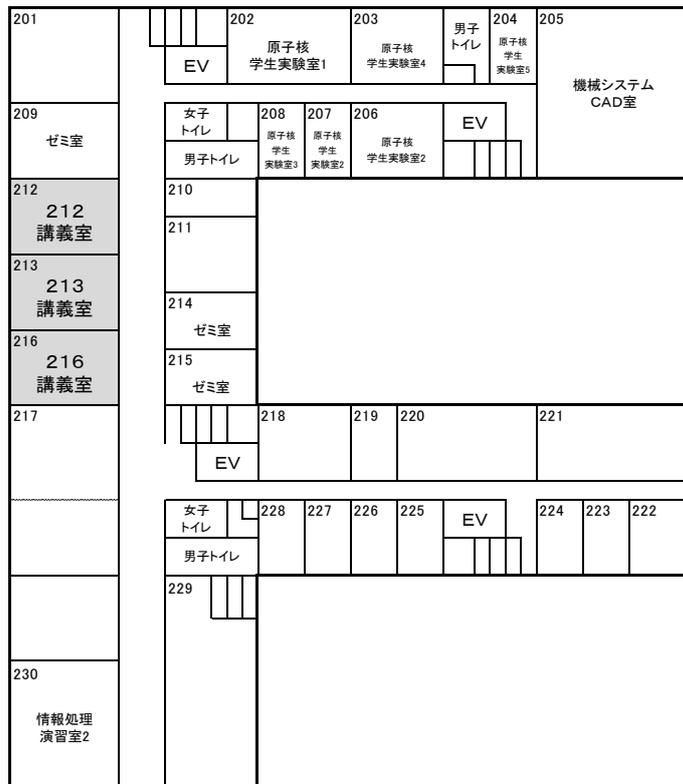
「Campus Life Information」（教育推進・学生支援部発行）を参照してください。

# 物理系校舎配置図

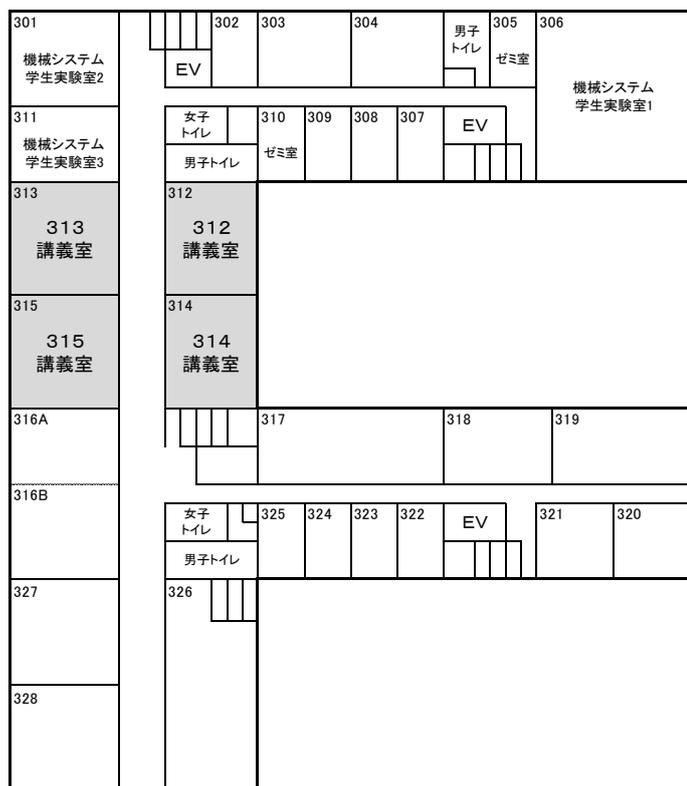
## 1階



## 2階



## 3階



## 4階北棟



## 5階北棟



## 令和2年度 学科長・クラス担任・コース長 一覧表

学 科 長	石山 拓二 教授 075-753-4729 総合研究12号館232 ishiyama.takuji.8e@kyoto-u.ac.jp
-------	---

### ク ラ ス 担 任

令和2年度入学者(1回生)					
7組	8組	9組	10組	11組	12組
西脇 眞二 教授 075-383-3598 桂C3棟b2S07室 <a href="mailto:shinji@prec.kyoto-u.ac.jp">shinji@prec.kyoto-u.ac.jp</a>	黒瀬 良一 教授 075-383-3654 桂C3棟b4S10室 <a href="mailto:kurose@mech.kyoto-u.ac.jp">kurose@mech.kyoto-u.ac.jp</a>	辻 伸泰 教授 075-753-5462 物理系校舎828室 <a href="mailto:tsuji@mtl.kyoto-u.ac.jp">tsuji@mtl.kyoto-u.ac.jp</a>	今谷 勝次 教授 075-753-4915 総合研究12号館 230 <a href="mailto:imatani.shoji.5c@kyoto-u.ac.jp">imatani.shoji.5c@kyoto-u.ac.jp</a>	高木 郁二 教授 075-383-3915 桂C3棟d2S12 <a href="mailto:takagi@nucleng.kyoto-u.ac.jp">takagi@nucleng.kyoto-u.ac.jp</a>	高田 滋 教授 075-383-3780 桂C3棟c3S04室 <a href="mailto:takata.shigeru.4a@kyoto-u.ac.jp">takata.shigeru.4a@kyoto-u.ac.jp</a>

### コ ー ス 長

機械システム学コース	材料科学コース	エネルギー応用工学コース	原子核工学コース	宇宙基礎工学コース
西脇 眞二 教授 075-383-3598 桂C3棟b2S07室 <a href="mailto:shinji@prec.kyoto-u.ac.jp">shinji@prec.kyoto-u.ac.jp</a>	中村 裕之 教授 075-753-5440 物理系校舎323室 <a href="mailto:nakamura.hiroyuki.2w@kyoto-u.ac.jp">nakamura.hiroyuki.2w@kyoto-u.ac.jp</a>	今谷 勝次 教授 075-753-4915 総合研究12号館 230 <a href="mailto:imatani.shoji.5c@kyoto-u.ac.jp">imatani.shoji.5c@kyoto-u.ac.jp</a>	高木 郁二 教授 075-383-3915 桂C3棟d2S12 <a href="mailto:takagi@nucleng.kyoto-u.ac.jp">takagi@nucleng.kyoto-u.ac.jp</a>	高田 滋 教授 075-383-3780 桂C3棟c3S04室 <a href="mailto:takata.shigeru.4a@kyoto-u.ac.jp">takata.shigeru.4a@kyoto-u.ac.jp</a>

### 相 談 窓 口

1 回 生	クラス担任および学科長
2回生・3回生	コース長および学科長
4 回 生	研究室未配属時は、コース長および学科長 研究室配属後は、指導教員および学科長

令和2年4月

## 令和2年度入学者の2回生進学時のコース分属方針

物 理 工 学 科

### 「分属方針」

- ① 1回生終了時に40単位以上取得しているものは、取得した全科目の平均点の上位のものから希望のコースへ分属する。
- ② 取得単位が40単位未満のものは、希望を考慮しない。
- ③ 2回生終了時に各コースに若干名の転コースを認めることがある。転コースの条件は別途定める。
- ④ 在学期間が1年未満の場合は分属しない。(1回生在学中に休学した場合)

○物理工学科の入学定員235名のコース別定員

機械システム学コース	105名
材料科学コース	55名
エネルギー応用工学コース	35名
原子核工学コース	20名
宇宙基礎工学コース	20名

○上記コース別定員は入学定員に対するものであり、当該年度の分属対象者数によって変動することがある。

○希望調書の集計結果は公表しない。

### 「転コースのルール」

下記の条件を全て満たし、かつ学科長が認めた場合は転コースが認められる。

- ① 第一希望のコースに分属されなかったもの
- ② 2回生終了時に92単位以上取得していること
- ③ 2回生で取得した科目の平均点が物理工学科の上位10%程度以内のもの

### 「平均点算定方法」

- ① 「分属方針」、「転コースのルール」の平均点とは、(取得した科目の得点×その科目の単位数)の合計を取得した全単位数(科目数ではない)で除した値である。
- ② 平均点算出にあたっては、物理学実験と基礎化学実験の得点をそれぞれ2倍する。

### 「転(出)学科等の出願について」

1回生(2回生進学時)での出願者は、転(出)学科等の結果が出てから、コース分属をする。

以 上

## 令和 2 年度 物理工学科 1 回生用 情報基礎演習受講についての注意

物理工学科で開講する情報基礎演習では、学生本人が所有するノートパソコンを授業に持ち込み、それを演習に使用する **BYOD (Bring Your Own Device)** 形式を予定しています。従いまして、物理工学科の情報基礎演習を履修する学生は、必ず自分のノートパソコンを授業に持参してください。

持参するノートパソコンについて：ノートパソコンは高性能である必要はありませんが、無線 LAN は必須です。OS は Windows, Mac のいずれも可です。ノートパソコンの推奨仕様などについては新入生向け冊子「入学案内」を参照してください。なお、持参するノートパソコンには、ウイルス対策ソフトウェアを必ず導入してください。

また、持参したノートパソコンを学内ネットワークに接続するためには学生アカウント (ECS-ID) が必要になりますので、授業に際しては学生アカウントも準備してください。

以上

## 専門科目の履修登録について

- ◆履修登録に際しては、各自の入学年度の履修要覧および「物理工学科担当専門科目一覧」で担当教員等の詳細を確認の上、登録すること。
- ◆2回生以上はガイダンスで配付された科目配当変更表、各コースからの指示事項にも注意すること。
- ◆履修登録のない科目は、試験を受けても単位は認定されません。登録クラスと異なるクラスで受験した場合も単位は認定されないのので、必ず各自の責任で登録および登録確認を行い、正しく登録しておくこと。確認の際は、担当教員も確認しておくこと。
- ◆科目内容等の詳細についてはシラバスを参照すること。
- ◆通年科目は、後期に履修登録の取り消しができないため、通年科目を履修する場合は、後期に履修予定の科目についても考慮しておくこと。

### ★履修登録に関する日程★

- \* 時間割作成期間（候補科目設定）：4月2日(木)～4月16日(木)
- \* 履修登録期間：4月17日(金)～4月20日(月)
- \* 履修登録確認・修正期間：4月23日(木)～4月24日(金)
- \* 履修取消期間：6月1日(月)～6月2日(火)

## 専門科目の履修登録に関する注意事項

- ◆履修登録の際は KULASIS だけでなく、必ず各自の入学年度の履修要覧・ガイダンス配付資料・掲示等も確認すること。
- ◆疑問があれば、物理工学科事務室又は各コース長に相談すること。
- ◆KULASIS 履修登録初期画面には、候補科目として各学年・コースに配当されている工学部専門科目が表示されている。表示されていない科目を履修する場合は、「物理工学科担当科目一覧」を参考に科目を検索して登録すること。

## 上回生科目の履修について

科目の履修にあたっては、各自の学年に配当されている科目を優先的に履修し、余裕がある場合に限り、上回生科目の履修を検討すること。

各科目は下位の学年に配当されている科目を履修しているという前提で開講されているため、上回生配当の科目を履修する場合、内容の理解が難しい場合もあるので注意すること。

## 特別履修手続きについて

特別履修手続きの必要な科目を履修する学生は、下記の通り手続きをすること。

	提出期限	備考
他学部 聴講願 (理学部・医学部の 科目履修を希望する 場合のみ)	<b>4/9(木)</b>	理学部・医学部以外の開講科目については、KULASIS から履修登録すること。 注) 他学部科目を卒業に必要な単位として認定を希望する場合は事前に別途手続きが必要です。詳細は物理工学科事務室に問い合わせること。
上回生科目 履修願	<b>4/15(水)</b>	要：担当教員の承認 (印 or サイン)
他学科科目 履修願	<b>4/15(水)</b>	開設学科及び物理工学科事務室の指示に従うこと

\* 用紙は物理工学科事務室で配布します。備考欄にあるとおり、承認を得た上で、期限までに物理工学科事務室に提出すること。

\* 願を提出した科目（他学部科目を除く）は、KULASIS 履修登録画面に候補科目として表示されるので、詳細を確認し、登録・確定すること。

\* 上記の期限に提出が間に合わない場合は、事前に、物理工学科事務室まで連絡すること。

変更事項は掲示により周知するので、必ず、定期的に物理工学科掲示板を確認すること。

## 理工工学科配当専門科目一覧(令和2年度前期)

\* 変更は揭示にて周知するので、必ず、定期的に理工工学科掲示板を確認すること

### (1回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教官名	講義室	受講するべき者(五十音等)
水・2	理工工学総論B	5111000	全員	物216	7組・8組・9組(姓:あ〜そ)
		5111100	全員	物315	9組(姓:た〜)・10組・11組・12組
集中	工学序論	2108000	関係教員		コースにより単位の取り扱いが異なるので、必ず履修要覧で確認すること

### (2回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教官名	講義室	受講するべき者
月・2	原子核工学序論1	5150000	佐々木ほか	物101	原子核
月・3	機械設計製作	5127000	松原(厚)・西脇	物313	機械システム学・エネ応・宇宙基礎工学
火・1	計算機数学	5003100	林(潤)・蜂谷	メ南203	エネ応
		5003200	奥田	物216	材料科学
木・2	下記(注)参照	5003300	巽	物112	機械システム学(7組,9組,11組)
月・2		5003400	松原(厚)・河野・桜間	物216	機械システム学(8組,10組,12組)
金・2		5003000	小林	物312	原子核
火・5	エレクトロニクス入門(*1)	5300000	守倉	総合研究8号館NSホール	機械システム学(宇宙:3回生配当)
火・5	電気回路基礎論	6063000	久門 [電気電子工学科]	電総大	宇宙基礎工学
水・1	材料力学1	5004000	北條	物313	機械システム学・宇宙基礎工学(学生証番号末尾奇数)
		5004100	平方	物314	機械システム学・宇宙基礎工学(学生証番号末尾偶数)
		5004200	今谷	物315	材料科学・エネ応・原子核(学生証番号末尾奇数)
		5004300	安部	物312	材料科学・エネ応・原子核(学生証番号末尾偶数)
金・1	熱力学1	5162000	中部・巽	物313	機械システム学・宇宙基礎(学生証番号末尾奇数)
		5162100	吉田(英)・岩井	物216	機械システム学・宇宙基礎(学生証番号末尾偶数)
水・3		5162200	石原	物315	エネ応・原子核
水・3	材料熱力学1	5163000	杉村	物216	材料科学
火・3	材料熱力学2	5164000	宇田	物314	材料科学
金・3	計測学	5009000	横川・土屋・木下・三宅	物313	機械システム学・エネ応・原子核(学生証番号末尾奇数)
		物315		機械システム学・エネ応・原子核(学生証番号末尾偶数)	
金・3	物質科学基礎	5133000	邑瀬	物314	材料科学
通年集中	GLセミナーI(企業調査研究)	2401000	関係教員 <GLセンター>	別途指示	機械システム学(履修要覧を確認すること)

(注) 演習室の定員が決まっていますので、受講クラスについては担当教員の指示に従ってください。

(\*1) 機械: 2回生配当、宇宙: 3回生配当。KULASIS上では対象回生2回生以上となっているので注意すること。

「工学と経済」、「工学とエコロジー」は本年度より廃止となりました。

### (3回生)(1/2)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員<担当コースまたは他学科の科目は開講学科名>	講義室	受講するべき者
水・2	工業力学A	2080000	西原・花崎<機械システム学>	物313	機械システム学・宇宙基礎工学
月・1		2080200	木下<エネ応>	物314	エネ応
月・1	エネルギー変換工学	5023100	河原・横峯 <原子核>	物212	原子核
金・2		5023000	石山<エネ応> 中部<機械システム学>	物313	機械システム学・エネ応
月・1	固体力学	5051000	琵琶<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
月・1	設計工学1	5155000	小森(雅)・平山<機械システム学>	物313	機械システム学
月・2	熱及び物質移動	5037000	河合<材料科学>	物313	材料科学
		5037100	奥村・佐川<エネ応>	物213	エネ応
月・2	工業数学A2	2060000	中村(佳)・辻本[情報学科]	総合研究8号館NSホール	宇宙基礎工学
月・2	生物物理学	5096000	櫻井・松本・高田・原田<原子核>	物212	原子核
月・3	エネルギー・材料熱化学1	5118000	平藤・長谷川<エネ応>	物315	材料科学・エネ応
月・3	制御工学1	5025200	丸田<宇宙基礎工学>	物314	宇宙基礎工学
火・1	応用電磁気学	5013000	四竈<機械システム学>	物313	機械システム学・宇宙基礎工学(学生証番号末尾奇数)
		5013100	鈴木<機械システム学>	物315	機械システム学・宇宙基礎工学(学生証番号末尾偶数)
		5013200	斉藤<原子核>	物314	エネ応・原子核
火・2	工業数学F2	2065000	加納・大塚<機械システム学>	物216	機械システム学(学生証番号末尾奇数)
		2065100	瀬波<機械システム学>	物312	機械システム学(学生証番号末尾偶数)
		2065200	一井・弓削<材料科学>	物313	材料科学
金・4		2065300	岸本・今寺<エネ応>	物216	エネ応・原子核
火・2	エネルギー・化学1	5139000	萩原<エネ応>	物314	エネ応・原子核
火・2	気体力学	5045000	高田<宇宙基礎工学>	物212	宇宙基礎工学
火・3	熱統計力学	5046000	江利口<宇宙基礎工学>	物212	宇宙基礎工学
火・3	構造物性学	5129000	野瀬・柴田<材料科学>	物216	材料科学
火・5	エレクトロニクス入門(*1)	5300000	守倉	総合研究8号館NSホール	宇宙基礎工学(機械システム学: 2回生配当)
水・4~5	機械システム工学実験1	5056000	土屋・中嶋・嶋田 他 <機械システム学>		機械システム学
木・4~5	機械システム工学実験2	5057000			
金・4~5	機械システム工学実験3	5058000			
月・金・4~5	機械設計演習1	5059000	横川・中嶋・金田 <機械システム学>	物312他	機械システム学
火・木・4~5		5059100	四竈・巽・山中 <機械システム学>	物312他	
水・金・4~5		5059200	松本(充)・澁川・中務・栗谷・松井・山根<機械システム学>	物312他	

(\*1) 機械: 2回生配当、宇宙: 3回生配当。KULASIS上では対象回生2回生以上となっているので注意すること。

## (3回生)(2/2)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員<担当コースまたは他学科の科目は開講学科名>	講義室	受講すべき者
月・4	物理学演習1	5054000	石山 他<エネ応>	物213	エネ応
火・3~4		5054100	宮寺・小暮<原子核>	物101	原子核
木・3~4		5054200	高橋・足立・田中<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
火・1	固体電子論	5121000	黒川<材料科学>	物101	材料科学
水・1	材料電気化学	5102000	邑瀬・深見<材料科学>	物216	材料科学
水・1	加速器工学	5115000	土田<原子核>	物101	原子核
水・1	工業数学A3	2070000	矢ヶ崎[情報学科]	総合研究8号館講義室2	宇宙基礎工学
水・2	放射線計測学	5174000	土田<原子核>	物101	原子核
水・2	材料基礎学2	5154000	奥村<エネ応>	物212	エネ応
水・木・3~4	材料科学実験および演習1	5062000	弓削 他<材料科学>	物112他	材料科学
水・木・3~4	エネルギー応用工学設計演習・実験1	5157000	奥村 他<エネ応>	物101他	エネ応
木・1~4	原子核工学実験1	5158000	田崎 他<原子核>	物212	原子核
木・1	制御工学1(*2)	5025000	松野・遠藤<機械システム学>	物313	機械システム学・エネ応 (学生証番号末尾奇数) (原子核・4回生配当)
		5025100	大塚・桜間<機械システム学>	物315	機械システム学・エネ応 (学生証番号末尾偶数) (原子核・4回生配当)
木・2	流体力学2	5143000	花崎<機械システム学>	物313	機械システム学
		5143100	大和田・杉元<宇宙基礎工学>	物314	エネ応・宇宙基礎工学
木・2	量子無機材料学1	5165000	田中(功)<材料科学>	物216	材料科学
金・1	結晶物性学	5035000	乾・岸田<材料科学>	物312	材料科学・エネ応
金・1	原子炉物理学	5203000	神野<原子核>	物212	原子核
金・1	材料基礎学1(*3)	5008000	富田<機械システム学>	物315	機械システム学・宇宙基礎工学 (学生証番号末尾奇数)
金・1	材料基礎学1(*3)	5008100	平方・嶋田<機械システム学>	物314	機械システム学・宇宙基礎工学 (学生証番号末尾偶数)
金・2	量子物理学1	5018200	宮寺<原子核>	物315	材料科学・原子核・宇宙基礎工学
金・3	連続体力学	5020000	今谷<エネ応>	物312	エネ応
金・3	統計力学	5130000	田崎<原子核>	物101	原子核
金・3~4	航空宇宙工学実験1	5066000	コース長他<宇宙基礎工学>	物213他	宇宙基礎工学

(\*2) 機械・エネ応:3回生配当、原子核:4回生配当。KULASIS上では対象回生3回生以上となっているので注意すること。

(\*3) エネルギー応用・原子核向けの「材料基礎学1」は後期開講。

## (4回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員 <担当コースまたは他学科の科目は開講学科名>	講義室	受講すべき者
月・1	統計熱力学	5073000	松本(充)<機械システム学>	物112	機械システム学
月・3~4	原子炉基礎演習・実験	5107000	三澤・宇根崎・中島・卞<原子核>	物101	原子核
火・1	精密加工学	5099000	松原(厚)・河野	桂・講義室1	機械システム学
火・2	固体物性学	5071000	中嶋<機械システム学>	桂・講義室2	機械システム学
火・3~4	航空宇宙工学演義 (注)事前許可科目	5145000	<宇宙基礎工学>	桂	宇宙基礎工学
水・1	量子物理学2	5019000	蓮尾<機械システム学>	物212	機械システム学
水・2	知能システム工学	5171000	榎木・中西<機械システム学>	物314	機械システム学
水・4	品質管理	5087000	西脇・泉井<機械システム学>	桂・講義室3	機械システム学
木・1	制御工学1(*2)	5025000	松野・遠藤<機械システム学>	物313	原子核 (学生証番号末尾奇数) (機械・エネ応・3回生配当)
		5025100	杉江・大塚<機械システム学>	物315	原子核 (学生証番号末尾偶数) (機械・エネ応・3回生配当)
木・2	材料強度学	5161000	澄川<機械システム学>	吉田・物315 桂・講義室4	機械システム学
木・2	核物理基礎論	5114000	宮寺・小暮 <原子核>	物213	原子核
木・3	工学倫理	2105000	関係教員	総合研究 8号館 NSホール	全コース
木・4	数理解析	9118000	吉川(仁)[情報学科]	総合研究 8号館 講義室4	宇宙基礎工学
金・1	マイクロ加工学	5144000	横川・土屋<機械システム学>	桂・講義室3	機械システム学・エネ応
特別履修	物理学英語(原子核)	5125300	小林 他<原子核工学>		原子核
夏期集中	マイクロ材料の加工・評価の基礎(*4)	5170000	土屋・鈴木・横川		機械システム学
特別履修	特別研究1 (注)事前許可科目	5995000	機械システム学		機械システム学
		5995100	材料科学		材料科学
		5995200	エネルギー応用工学		エネ応
		5995201	原子核工学		原子核
		5995300	宇宙基礎工学		宇宙基礎工学

(\*2) 機械・エネ応:3回生配当、原子核:4回生配当。KULASIS上では対象回生3回生以上となっているので注意すること。

(\*4) 後期に履修登録すること。事前登録の方法は、後日揭示するので注意すること。

物理学英語(エネ応)は本年度より廃止となりました。

## 【重要！】(注)事前許可科目

「航空宇宙工学演義」、「特別研究1」は事前許可科目として履修対象者のみ候補科目として

KULASIS履修登録の初期画面に表示されているので、履修予定者は、必ず履修登録しておくこと。履修予定にもかかわらず表示されていない場合は、物理工学科事務室まで申し出ること。

なお、履修に際して下記のような指示事項があるので、注意すること。

☆ 宇宙基礎工学コースで研究室配属された者は、上記に加え、「航空宇宙工学演義」を履修登録すること。

# 物理工学科配当専門科目一覧(令和2年度後期)

\* 変更は掲示にて周知するので、必ず、定期的に物理工学科掲示板を確認すること

## (1回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員名	講義室	受講するべき者
水・2	物理工学総論A	5110000	全員	物216	7組・8組・9組(姓:あ〜そ)
		5110100	全員	物315	9組(姓:た〜)・10組・11組・12組

## (2回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員	講義室	対象コース等
月・2	原子核工学序論2	5151000	佐々木 他	物101	原子核
火・1	熱力学2	5007000	中部・巽	物315	機械システム学・宇宙基礎 (学生証番号末尾 奇数)
		5007100	吉田(英)・岩井	物314	機械システム学・宇宙基礎 (学生証番号末尾 偶数)
金・1		5007200	石山	物315	エネ応・原子核
火・2	流体力学1	5142000	黒瀬	物313	機械システム学
		5142100	大和田・杉元	物216	エネ応・原子核・宇宙基礎
火・2	材料統計物理学	5134000	田畑(吉)・弓削	物312	材料科学
火・3	工業数学F1	2055000	西川	物313	機械・材料・エネ応・原子核 (学生証番号末尾 奇数)
		2055100	前川	物315	機械・材料・エネ応・原子核 (学生証番号末尾 偶数)
水・1	材料基礎学1 ※1	5008200	高木	物312	エネ応・原子核
水・1	材料科学基礎1	5135000	岸田・野瀬	物314	材料科学
水・1	振動工学	5024100	青井・泉田	物112	宇宙基礎
木・1	固体物理学	5012000	中村	物315	材料科学・エネ応・原子核・ 宇宙基礎
木・2	材料科学基礎2	5136000	柴田・深見・一井	物315	材料科学・エネ応
木・2	工業数学A1	2050000	柴山 [開設:情報学科]	物313	宇宙基礎
金・1	材料科学基礎3	5172200	豊浦	物314	材料科学
金・2	材料力学2	5005000	西川	物216	機械システム学 (7・8・9・10組)
		5005100	琵琶	物312	機械システム学(11・12組)・ 宇宙基礎
		5005200	木下	物315	材料科学・エネ応・原子核
金・3	原子物理学	5014000	神野・間嶋	物313	材料科学・エネ応・原子核・ 宇宙基礎
夏季集中 +水・5	機械製作実習	5061000	松原 他	物313他	機械システム学
後期集中	GLセミナーⅡ(課題解決演習)	2501000	前田・田中・ 他関係教員	(別途指示)	機械システム学 (履修要覧を確認すること)

※1 機械システム学・宇宙基礎向けの「材料基礎学1」は前期配当。

## (3回生)(1/2)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員 <担当コースまたは 他学科の科目は開講学科名>	講義室	受講するべき者 クラス割振等
月・1	推進基礎論	5048000	江利口<宇宙基礎工学>	物101	宇宙基礎工学
月・1	材料組織学	5173000	安田<材料科学>	物314	材料科学
月・1	放射化学	5116000	佐々木・小林<原子核>	物212	エネ応・原子核
月・2	エネルギー・材料熱化学2	5119000	平藤・長谷川<エネ応>	物313	材料科学・エネ応
月・2	流体熱工学	5152000	横峯<原子核>	物212	原子核
月・2	航空宇宙機力学	5049000	泉田・青井<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
月・3	高分子材料概論	5200000	澤本<材料科学>	物101	材料科学
月・1~4	機械設計演習2	5060000	小森・平山・河野・ 中西・金田<機械システム学>	物315他	機械システム学
月・4~5	機械システム工学実験1	5056100	土屋・中嶋・嶋田 他 <機械システム学>	別途指示	機械システム学
木・1~2	機械システム工学実験2	5057100		別途指示	機械システム学
木・4~5	機械システム工学実験3	5058100		別途指示	機械システム学
火・1	量子物理学2	5019200	宮寺<原子核>	物313	材料科学・原子核・ 宇宙基礎工学
火・2	物理学演習2	5055000	松本(一)<エネ応>	物212	エネ応
火・4~5		5055100	横峯・小暮、他<原子核>	物101	原子核
金・3~4		5055200	八木<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
火・2	設計工学2	5156000	松原・西脇・小森 <機械システム学>	物315	機械システム学
火・2	量子無機材料学2	5166000	世古<材料科学>	物314	材料科学
火・2	プラズマ物理学	5040000	村上<原子核>	物101	原子核・宇宙基礎工学
火・3~4	航空宇宙工学実験2	5067000	コース長他<宇宙基礎工学>	物213他	宇宙基礎工学
火・3	統計熱力学	5073100	三宅<エネ応>	物216	材料科学・エネ応
火・3	中性子理工学	5141000	田崎<原子核>	物212	原子核
火・3	連続体力学	5020100	安達<機械システム学>	物312	機械システム学
水・1	システム工学	5128100	川那辺<エネ応>	物101	エネ応・原子核
水・1	振動工学	5024000	松原・小森・中西<機械システム学>	物313	機械システム学
水・2	材料分析化学	5120000	河合<材料科学>	物101	材料科学
水・2	生産工学	5030000	泉井<機械システム学>	物313	機械システム学
水・2	材料物理化学	5036000	高木・小林<原子核>	物213	原子核
		5036100	平藤<エネ応>	物314	エネ応

## (3回生)(2/2)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員 <担当コースまたは他学科の科目は開講学科名>	講義室	受講するべき者 クラス割振等
水・3	制御工学2	5027000	松野・遠藤<機械システム学>	物315	機械システム学
水・3	数値解析	9025200	吉川(仁) [情報学科]	物313	宇宙基礎工学
水木・3~4	材料科学実験 および演習2	5063000	弓削 他<材料科学>	物112他	材料科学
水木・3~4	エネルギー応用工学 設計演習・実験2	5159000	奥村 他<エネ応>	物101他	エネ応
木・1~4	原子核工学実験2	5160000	田崎 他<原子核>	物212	原子核
木・2	金属材料学	5069000	辻<材料科学>	物312	材料科学
木・2	制御工学2	5027100	藤本<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
金・1	伝熱工学	5153000	岩井(裕)・巽<機械システム学>	物313	機械システム学
金・1	材料強度物性	5070000	乾<材料科学>	物216	材料科学
金・1	量子物性基礎論	5148000	松尾・瀬木<原子核>	物101	原子核
金・2	工業数学F3	2075000	井上<機械システム学>	物313	機械システム学・ 原子核
金・2	空気力学	5047000	高田<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
金・2	結晶回折学	5233000	奥田<材料科学>	物216	材料科学
金・3	量子反応基礎論	5041000	斉藤<原子核>	物101	原子核
金・3	固体物性論	5147000	中村・田畑(吉)<材料科学>	物216	材料科学・エネ応
金・3	量子物理学1	5018000	鈴木<機械システム学>	物315	機械システム学 (学籍番号末尾奇数)
		5018100	中嶋<機械システム学>	物314	機械システム学 (学籍番号末尾偶数)
金・4	エネルギー化学2	5140000	松本(一)<エネ応>	物312	エネ応・原子核
その他	インターンシップ	5124000	蓮尾・黒瀬<機械システム学>		機械システム学
		5124100	小暮 他<原子核>		原子核
	機械システム学セミナー	5169000	横川 他<機械システム学>	(別途指示)	機械システム学

## (4回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員 <担当コース>	講義室	受講するべき者
夏期集中	マイクロ材料の加工・評価の基礎※2	5170000	土屋・鈴木・横川		機械システム学
特別履修	特別研究2 *事前許可科目	5998000	機械システム学		機械システム学
		5998100	材料科学		材料科学
		5998200	エネルギー応用工学		エネ応
		5998201	原子核工学		原子核
		5998300	宇宙基礎工学		宇宙基礎工学

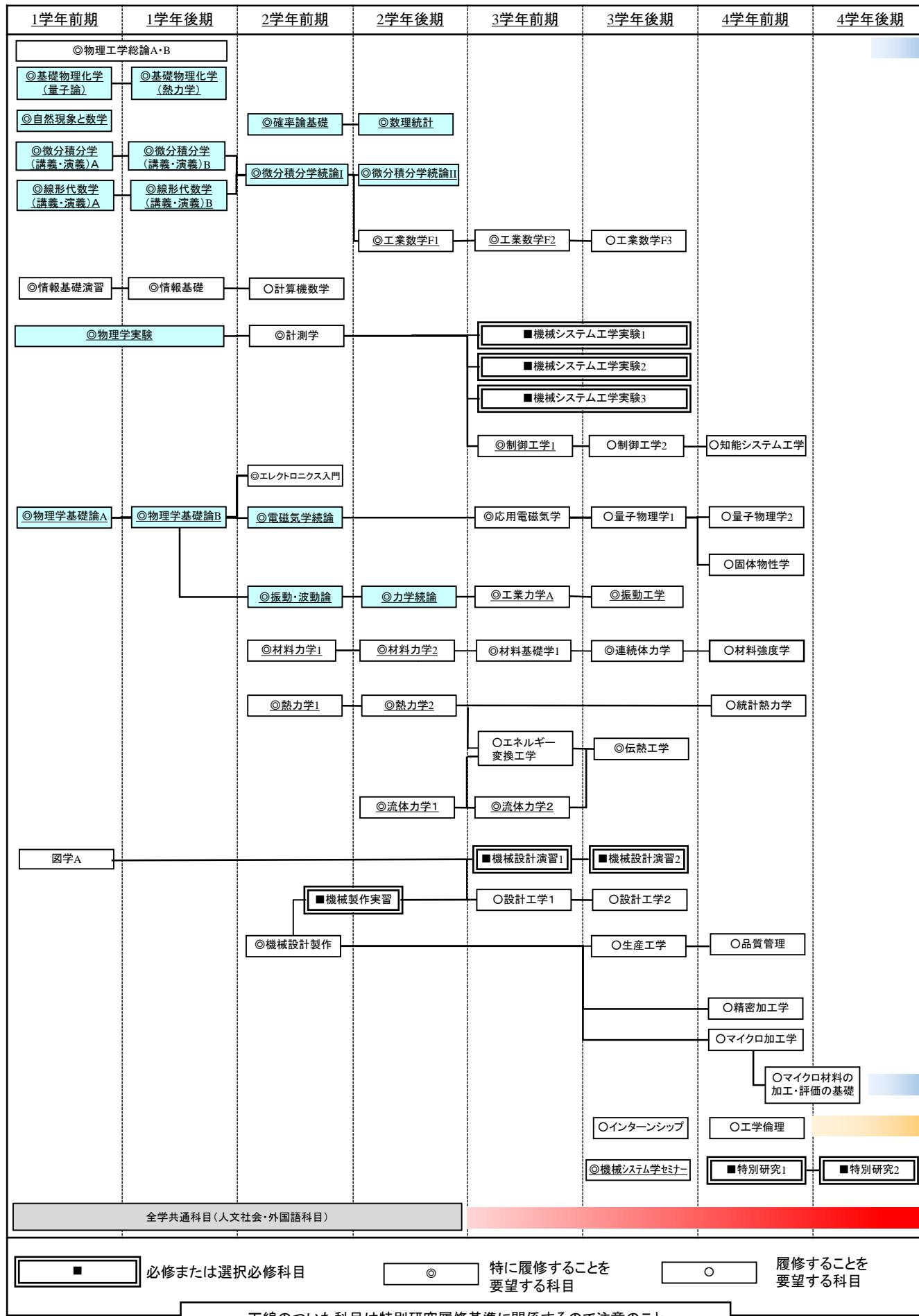
※2 夏期集中講義で、後期に履修登録する必要があります。

## &lt;重要！&gt;

「特別研究2」は事前許可科目として、履修対象者のみKULASIS初期画面に表示されているので、履修予定者は必ず履修登録しておくこと。履修予定にもかかわらず表示されていない場合は、物理工学科事務室まで申し出ること。

後期科目の履修登録期間等の詳細は後日揭示します。

# 機械システム学コース 科目フロー (H29年度以降入学者用)



## 教育目標 (ディプロマポリシー)

**基盤的専門知識と論理的思考能力**

**実践力(知識を総合し解決方法を発見)**

**コミュニケーション能力**

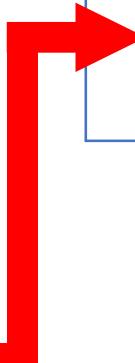
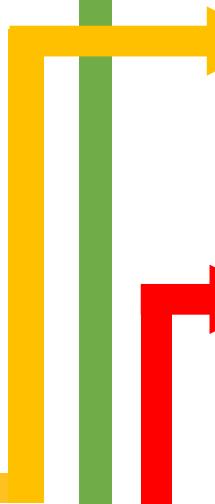
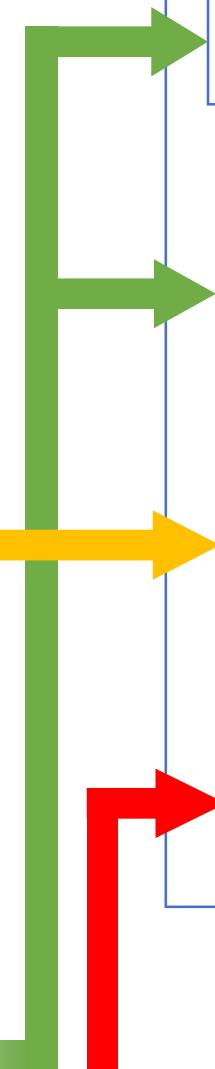
**責任感と倫理性**

**豊かな人間性と世界的視野**

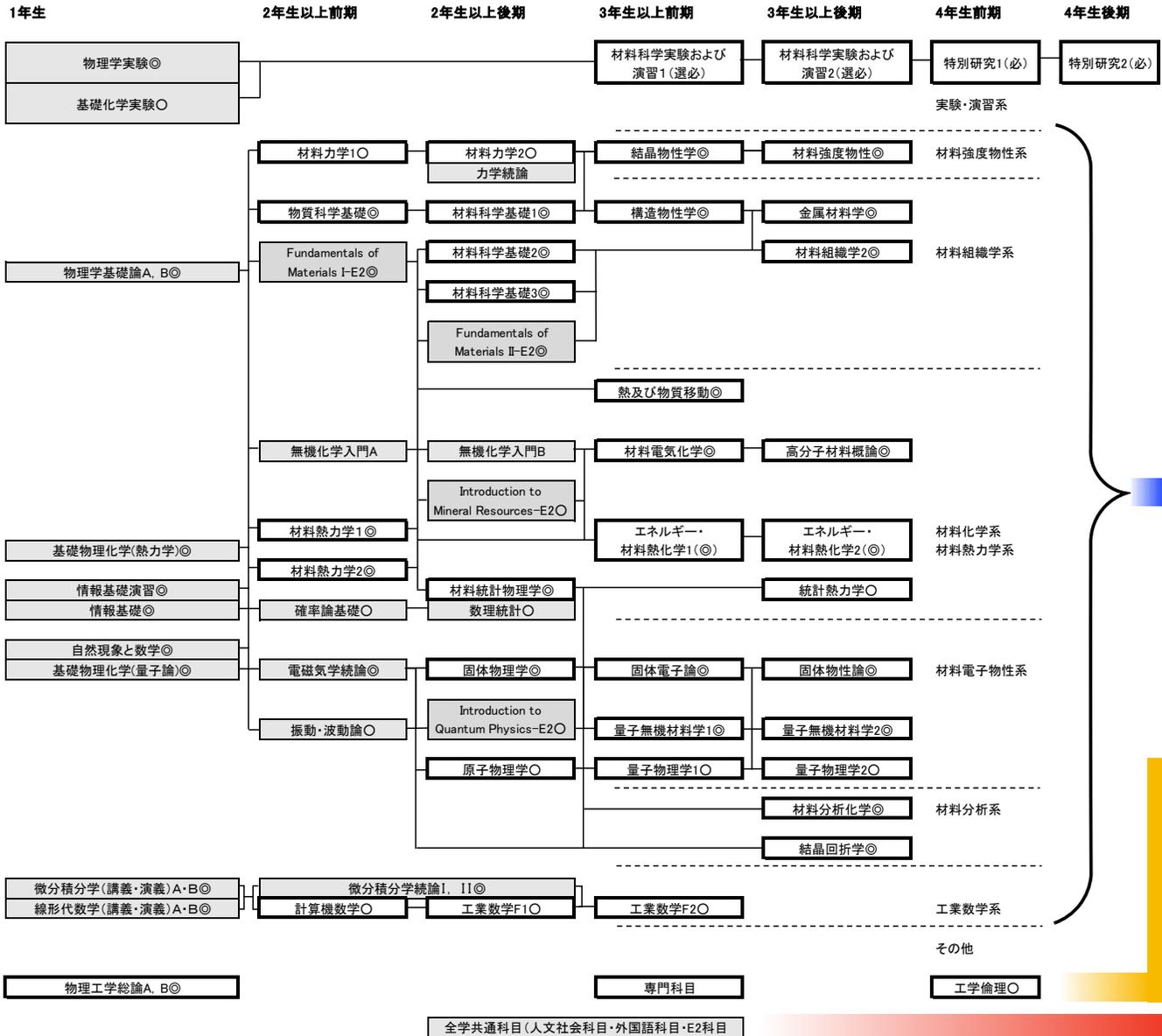
・次世代の画期的なシステム、新材料を開発し、活動の場を宇宙へも広げていくことに強い関心を持つ人

・多種多様な複雑な課題を物理学を基礎とした工学の知で解決する能力を持つ人

・基礎的な学問を十分に修得し、指導的技術者・研究者となって各専門分野をけん引する人



# 物理工学科材料科学コース

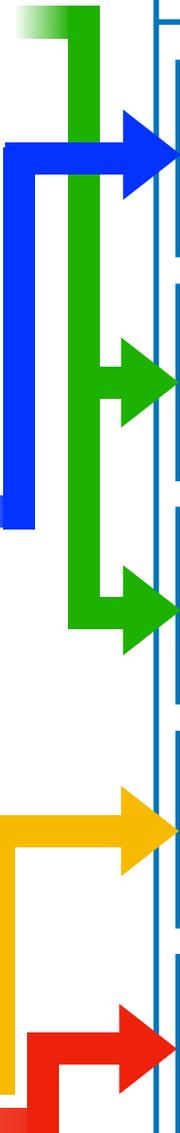


## 教育目標 (ディプロマポリシー)

### 育成する人材像

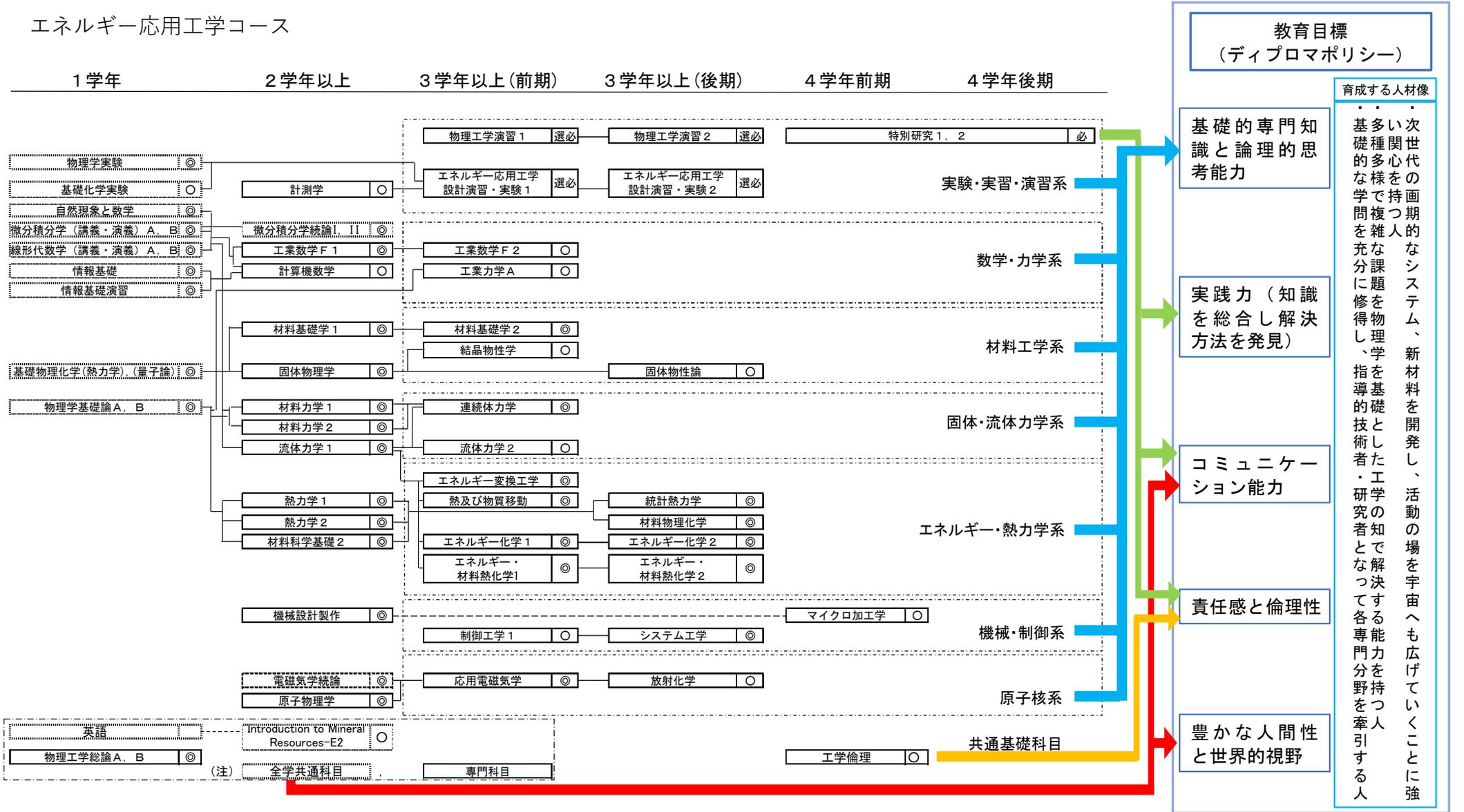
- 基礎的専門知識と論理的思考能力
- 実践力 (知識を総合し解決方法を発見)
- コミュニケーション能力
- 責任感と倫理性
- 豊かな人間性と世界的視野

・次世代の画期的なシステム、新材料を開発し、活動の場を宇宙へも広げていくことに強い関心を持つ人  
 ・多種多様な複雑な課題を物理学を基礎とした工学の知で解決する能力を持つ人  
 ・基礎的な学問を十分に修得し、指導的技術者・研究者となつて各専門分野を牽引する人





# エネルギー応用工学コース



# 物理工学科原子核工学コース専攻配当科目フローシート(R2年度入学)

1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期	3 年前期	3 年後期	4 年前, 後期
人文・社会科学, 外国語, 健康・スポーツ等科目						特別研究1,2*
微分積分学 (講義・演義) A	微分積分学 (講義・演義) B	微分積分学 統論 I	微分積分学 統論 II	物理学演習1*	物理学演習2*	
線形代数学 (講義・演義) A	線形代数学 (講義・演義) B		工業数学F1*	工業数学F2	工業数学F3	
自然現象と数学		確率論基礎	数理統計			
情報基礎演習 (工学部)	情報基礎 (工学部)	計算機数学*		原子核工学実験1*	原子核工学実験2*	
物理学実験		計測学		放射線計測学*		
物理学基礎論A	物理学基礎論B	電磁気学統論*		加速器工学*	プラズマ物理学*	
			力学統論	量子物理学1*	量子物理学2*	核物理基礎論*
			原子物理学*	エネルギー変換工学*	流体熱工学*	
			流体力学1	統計物理学	中性子工学*	原子炉基礎演習・実験*
		振動・波動論	統計物理学	原子炉物理学*	量子物性基礎論*	
			固体物理学		システム工学	制御工学1
		材料力学1	材料力学2		放射化学*	
		熱力学1	熱力学2		材料物理化学*	
			材料基礎学1*			
物理学総論 A, B†*	物理学総論 B, A†*	原子核工学序論1*	原子核工学序論2*			
基礎化学実験		生物・生命科学入門		生物物理学*		
基礎物理化学 (熱力学)	基礎物理化学 (量子論)	無機化学入門A	無機化学入門B	エネルギー化学1	エネルギー化学2	物理学英語*
		基礎有機化学 I	基礎有機化学 II		インターンシップ	工学倫理*
図学A				工学部国際インターンシップ1, 2		

**教育目標**  
(ディプロマポリシー)

基盤的専門知識と論理的思考能力

実践力(知識を総合し解決方法を発見)

コミュニケーション能力

責任感と倫理性

豊かな人間性と世界的視野

量子の科学に立脚したミクロな観点から、最先端科学を切り開く量子テクノロジーを追求するとともに、物質、エネルギー、生命、環境などへの工学的応用を展開し、循環型システムの構築を目指すことができる人材

全学共通	特に履修を要望する科目	専門科目	選択必修/必修	● : 隔年講義 (偶数年開講)
全学共通	履修を要望する科目	専門科目	特に履修を要望	■ : 隔年講義 (奇数年開講)
全学共通	配当科目	専門科目	履修を要望	† : A, Bは年度毎に入れ替わり
				* : 原子核担当/分担

全学共通科目

全学共通科目

全学共通科目

(令和2年度入学者用)

(令和2年4月改定)

## 特別研究履修基準

機械システム学コース

機械システム学コースにおける特別研究の開始に必要な122単位には、次の科目を含んでいなければならない。

### 1. 全学共通科目

- ・人文・社会科学科目群(ただし E1 科目に指定されていない科目) 16単位
- ・自然科学科目群 30単位以上  
※ただし、以下の科目から30単位以上を含むこと  
自然現象と数学、微分積分学(講義・演義)A、同B、  
線形代数学(講義・演義)A、同B、  
物理学基礎論A、同B、振動・波動論、物理学実験、  
基礎物理化学(量子論)、同(熱力学)、微分積分学統論I、同II、  
電磁気学統論、確率論基礎、数理統計、力学統論
- ・外国語科目群(英語8単位、他の一か国語8単位) 16単位
- ・E1科目とE3科目に指定されている科目 4単位

### 2. 専門科目

以下の科目から18単位以上

- 材料力学1、同2、熱力学1、同2、工業数学F1、同F2、  
流体力学1、同2、工業力学A、振動工学、制御工学1、機械システム学セミナー

注) 配当科目については科目名が変更されることがある。

(平成29年度以降の入学者に適用)

(平成29年4月改定)

## 特別研究履修基準

### 材料科学コース

材料科学コースにおける特別研究に着手するために必要な**122単位**には、次の科目を含んでいなければならない。

1. 全学共通科目単位については卒業要件に必要な単位数全て

人文・社会科学科目群(E1科目以外)	16単位(a)
自然科学科目群(E2科目を含んでもよい)	30単位以上(b)
外国語科目群	
英語	8単位(c1)
履修要覧にある科目より1ヶ国語	8単位(c2)

2. E1科目およびE3科においては e1+e3 で4単位

E1科目に指定されている科目	4単位まで(e1)
E3科目に指定されている国際コミュニケーション科目	4単位まで(e3)

3. b+d<sub>1</sub>+d<sub>2</sub>+W で86単位以上

健康・スポーツ, キャリア形成(E3科目以外), 統合科学, 少人数教育	4単位まで(d1)
情報学	4単位まで(d2)
専門科目のうち、選択必修科目と選択科目の合計単位	(W)

	a	c1	c2	e1	e3	b	d1	d2	専門科目
特別研究着手条件	16	8	8	4まで	4まで	30以上	4まで	4まで	W
	32			e1+e3=4		b+d1+d2+W ≥ 86			

※a+c1+c2 合計**32単位**, e1+e3 合計**4単位**および b+d1+d2+W 合計**86単位以上**をあわせて、合計**122単位以上**となる。

4. 専門科目

材料科学コースで履修することを要望する以下の選択科目中、

2回生配当8科目16単位のうちから**12単位以上**、

2年前期: 材料熱力学1、材料熱力学2、物質科学基礎

2年後期: 固体物理学、材料科学基礎1、材料科学基礎2、材料科学基礎3、材料統計物理学

3回生配当9科目18単位のうちから**12単位以上**。

3年前期: 構造物性学、量子無機材料学1、結晶物性学、エネルギー・材料熱化学1

3年後期: 材料組織学、結晶回折学、金属材料学、固体物性論、材料分析化学

(令和2年度入学者用)

(令和2年4月)

# 特別研究履修基準

宇宙基礎工学コース

宇宙基礎工学コースにおける特別研究の開始に必要な122単位には、次の科目を含んでいなければならない。

1. 全学共通科目	人文・社会科学科目群	16単位
	自然科学科目群	30単位以上
	自然現象と数学、微分積分学（講義・演義）A、同B、 線形代数学（講義・演義）A、同B、 物理学基礎論A、同B、振動・波動論、物理学実験、 基礎物理化学（量子論）、同（熱力学）、 微分積分学続論Ⅰ、同Ⅱ、電磁気学続論、確率論基礎、 数理統計、統計物理学、力学続論	
		のうちから30単位
	外国語科目群(英語8単位、他の一か国語8単位)	16単位
	E1科目とE3科目に指定されている科目	4単位
		計66単位以上

2. 専門科目	流体力学2*、気体力学、熱統計力学、固体力学、制御工学1*、 航空宇宙機力学、工業数学A2、推進基礎論	
		のうちから12単位

	流体力学1*、材料力学2*、工業数学A1、 応用電磁気学、空気力学、振動工学*、制御工学2*、 工業数学A3、数値解析、量子物理学1、同2、プラズマ物理学、 工業力学A、電気回路基礎論、エレクトロニクス入門、 航空宇宙工学実験1、同2	
		のうちから20単位

\*：宇宙基礎工学コース教員担当の講義

## 情報セキュリティ対策のお願い(1) ウイルス、マルウェア対策

- 工学部／工学研究科において多発しているセキュリティ事故と、その主な経路
  - マルウェア感染(最多)  
信頼できないダウンロードサイト、メールリンクによる誘導
  - ID・パスワード盗用  
脆弱なパスワードの使用、フィッシングメール
  - P2Pソフトの利用 → 次スライド
- 自宅等、学外にてご利用のPCについても
  - OS、ソフトウェアの定期的なアップデート
  - ウイルス対策ソフトウェアの導入  
を行うことを強く勧めます。  
※ウイルス対策ソフトウェアについては、一部のソフトウェア会社が  
家庭内・非商用での利用目的に限定した無料版を提供しています

## 情報セキュリティ対策のお願い(2) 著作権保護、P2Pファイル交換ソフトウェアについて

- 特別な理由がない限り、学内ネットワーク(KUINS)においてP2Pファイル交換ソフトの利用は禁止されています。  
自宅でP2Pソフトウェアを起動したPCを、学内ネットワークに接続することで、規程違反に問われるケースが報告されています。
- 電子ジャーナルをはじめとする資料は個人利用の範疇で利用し、複製や再配布は行わないでください。
- 著作権を侵害していると思われるコンテンツ(いわゆる「海賊版」)を利用しないでください。  
学外でのPC利用においても、京都大学の構成員、並びに社会人として節度ある行動を願います。

## 情報セキュリティ対策のお願い(3) e-Learning の受講

「京都大学情報セキュリティ e-Learning」を受講してください

- 大学が提供する
  - 教育用計算機システム
  - 電子ジャーナル、データベース
  - 電子メール等を利用する上で、最低限知っておくべき内容です
- 受講方法

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/>

にアクセスしてください。

(情報環境機構のページからもたどれます)

ECS-ID により受講者の確認をします



左の2次元バーコードを読み取ることでアクセスできます。

**本日の受講を推奨します。**

※未受講者の方は大学ネットワーク接続に制限がかけられる予定です。また個別にご連絡することがあります。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/>

## Information Security Measures (1) Virus and malware protection

- Security incidents occurring in the Graduate School of Engineering and Faculty of Engineering and the causes.
  - **Malware attack** (most common)  
Download from untrustworthy website, link in e-mail
  - Password/ID theft  
Weak password, phishing
  - Use of P2P file sharing software
- On your computers off-campus, e.g., in your home
  - Regularly **update OS and applications software**.
  - Install **anti-virus software**.  
Several anti-virus vendors offer their products free of charge (only for non-commercial, personal home use).

## Information Security Measures (2) Copyright protection, P2P file sharing software

- **P2P file sharing software is prohibited on the campus network (KUINS)**, unless there is a special reason.  
There have been regular cases of people charged with violation of the regulation, because he/she launched a P2P program on his/her laptop in their home and then connected it to the campus network.
- E-resources, such as e-journals, may only be used for private purposes. Any Reproduction and/or distribution are strictly prohibited.
- **Do not use any infringing product (known as *pirated copy*)**.  
You should conduct yourself in a sensible manner as a member of Kyoto University and society, even off-campus.

## Information Security Measures (3) e-Learning

### Take e-Learning courses on information security

- Kyoto University offers various information services:
  - Educational Computer System
  - E-Journals, Databases
  - E-mail

You can learn the basic security knowledge that is required to use these services.
- <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/en/services/ismo/e-Learning/>  
(There is a link on the homepage of the Institute for Information Management and Communication.)  
Your ECS ID is required to take these courses.



You can access the web page via the left matrix barcode.

Take these courses **today**.

※If you have not taken the courses, **network access on campus will be restricted**.  
(You may be asked to explain the circumstances.)

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/en/services/ismo/e-Learning/>

## コンピュータソフトウェアの適正な使用について

コンピュータソフトウェアを不正に使用すると、**著作権法違反として、使用者本人や大学が法的責任を問われる可能性があります。**

以下の事項に留意して、ソフトウェアは適正に使用してください。

✓ソフトウェアは、正規品を正しい流通経路

（正規販売代理店、メーカー直販等）で入手し、WEB等より海賊版ソフトウェアを入手しない。

✓クラックツール（ソフトウェアの仕組みを不正に改変するツール）を入手しない。

✓ソフトウェアは、「使用許諾契約書」に則って適正に使用し、不正コピーや不正な改変は行わない。



近年、著作権法の取締りが厳格化されています。不正に使用した結果、高額な賠償金や刑事罰などの厳しい罰則を課せられる可能性があります。

**ソフトウェアの不正使用は絶対にやめてください！**

To all faculty and staff members,

Institute for Information Management & Communication  
Information Infrastructure Division

## The proper use of computer software/application

If computer software is illegally used, it is a violation of the copyright law, there is a possibility that the user himself or the university may be subject to legal liability.

Please check the items below and use the computer software properly.

- ✓The computer software should be acquired as a genuine item through proper distribution routes (Authorized distributors, directly from the company producing it etc.). Pirated software should not be bought or used.
- ✓Crack tools (tools used to illegally modify the software) should not be bought or used.
- ✓ The computer software should be properly used according to the “License Agreement”. Illegal copying and unauthorized modifications should not be made.



Recently, the copyright law related control measures got very strict. As a result of the illegal use, severe punishments such as criminal punishments or high compensatory damages can be imposed.

**You must refrain from using software illegally !**

# 工学部・工学研究科 吉田保健室

工学部の学生と工学研究科・情報学研究科の大学院生を対象に、『漠然とした不安がある』『なんとなくやる気が出ない』『よくわからないけど、調子が悪い』といった、ちょっとした悩みや、不安・不調を感じたときに、気軽に相談ができる吉田保健室を開室しています。場所は、吉田キャンパスの工学部物理系校舎（=物理棟）北棟5階です。

保健室には、養護教諭資格を持った専門スタッフが常駐しており、相談に応じる他、必要に応じて、学内外の専門窓口との橋渡しもいたします。

カウンセリングルーム等の相談機関や医療機関を受診するのは面倒、あるいは抵抗があるというような場合には、遠慮なく気軽に訪ねてください。相談者のプライバシーは保護いたします。

開室時間：月－金 10：00－17：00（13：00－14：00休室）

物理棟 北棟5階

保健室

501	講義室	階段	エレベーター	502	503	504	WC	505	506	507
				516	515	514	513	512	511	510
							階段			

注) 物理棟の北棟と南棟は、1階から3階までしか繋がっていません

学内の相談窓口には、以下もあります。

保健診療所：本部構内、正門の西、カンフォーラの奥  
医師、看護師などが常駐し、月曜日から金曜日まで毎日、内科および神経科の診療を行う。ネットで診療日程表を確認のうえ、直接来所。



カウンセリングルーム：本部図書館の南  
人間関係など学生生活上の様々な悩みの相談。月曜日から金曜日まで毎日。直接来室するか、電話や電子メールで申し込む。



工学部学生相談室：工学部物理系校舎1階  
授業や研究に関すること、人間関係や生活に関することなどの相談。月曜日から金曜日まで毎日。直接来室するか、電話や電子メールで申し込む。

